

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載  
 【部門区分】第 7 部門第 3 区分  
 【発行日】平成 19 年 9 月 20 日 (2007.9.20)

【公表番号】特表 2007-502563 (P2007-502563A)  
 【公表日】平成 19 年 2 月 8 日 (2007.2.8)  
 【年通号数】公開・登録公報 2007-005  
 【出願番号】特願 2006-523078 (P2006-523078)  
 【国際特許分類】

**H 0 4 B      7/26      (2006.01)**

【F I】

H 0 4 B      7/26      1 0 2

【誤訳訂正書】

【提出日】平成 19 年 8 月 3 日 (2007.8.3)

【誤訳訂正 1】

【訂正対象書類名】特許請求の範囲

【訂正対象項目名】全文

【訂正方法】変更

【訂正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

複数の信号を、同時にそれぞれの電力レベルで送信する通信機器を動作させる方法であって、

一つ又はそれより多くの第 1 の信号を、該信号の電力の総計を所定の最大送信電力レベルにして同時に送信し、

受信信号に応じて、前記一つ又はそれより多くの第 1 の信号の送信電力を低減して、該一つ又はそれより多くの第 1 の信号とともに、第 2 の所定の電力レベルの第 2 の信号又は第 3 の所定の電力レベルの第 3 の信号を送信する方法において、

前記第 2 の所定の電力レベルは前記第 3 の所定の電力レベルを超えるものであり、

前記一つ又はそれより多くの第 1 の信号の送信電力の低減は、前記第 1 の信号とともに送信する信号が前記第 2 の信号であるか前記第 3 の信号であるかに関わりなく、前記第 2 の所定の電力レベルに対応すること、  
 を特徴とする方法。

【請求項 2】

請求項 1 記載の方法であって、

前記一つ又はそれより多くの第 1 の信号は第 1 のフレーム又はタイムスロットで送信され、前記第 1 の信号とともに送信する信号は第 2 のフレーム又はタイムスロットで送信され、

前記第 1 のフレーム又はタイムスロットの境界は、前記第 2 のフレーム又はタイムスロットの境界と同期しておらず、

前記一つ又はそれより多くの第 1 の信号の送信電力の低減は、前記第 1 の信号とともに送信する信号の送信の直前の、第 1 のフレーム又はスロット境界から開始する方法。

【請求項 3】

請求項 1 又は 2 記載の方法であって、

前記第 2 の信号は肯定的な応答であって、

前記第 3 の信号は否定的な応答である方法。

【請求項 4】

請求項 1、2、又は 3 記載の方法であって、

前記信号は拡散スペクトル信号である方法。

**【請求項 5】**

複数の信号を、同時にそれぞれの電力レベルで送信する通信機器であって、

一つ又はそれより多くの第 1 の信号を、該信号の電力の総計を所定の最大送信電力レベルにして同時に送信し、信号を受信し、該受信した信号に応じて該一つ又はそれより多くの第 1 の信号とともに第 2 の信号又は第 3 の信号を送信するための送受信手段と、

前記一つ又はそれより多くの第 1 の信号及び該第 1 の信号とともに送信する信号の送信電力レベルを制御するための制御手段と、

を有する通信機器において、

前記制御手段は、前記受信した信号に応じて、前記一つ又はそれより多くの第 1 の信号の送信電力を低減し、前記第 1 の信号とともに送信する信号が第 2 の信号である場合には該送信する信号の送信電力を第 2 の所定の電力レベルに設定し、前記第 1 の信号とともに送信する信号が第 3 の信号である場合には該送信する信号の送信電力を第 3 の所定の電力レベルに設定し、

前記第 2 の所定の電力レベルは前記第 3 の所定の電力レベルを超えるものであり、

前記一つ又はそれより多くの第 1 の信号の送信電力の低減は、前記第 1 の信号とともに送信する信号が前記第 2 の信号であるか前記第 3 の信号であるかに関わりなく、前記第 2 の所定の電力レベルに対応すること、

を特徴とする通信機器。

**【請求項 6】**

請求項 5 記載の通信機器であって、

前記制御手段は、

前記一つ又はそれより多くの第 1 の信号を第 1 のフレーム又はタイムスロットで送信し、前記第 1 の信号とともに送信する信号を第 2 のフレーム又はタイムスロットで送信し、

前記第 1 のフレーム又はタイムスロットの境界は、前記第 2 のフレーム又はタイムスロットの境界と同期しておらず、

前記一つ又はそれより多くの第 1 の信号の送信電力の低減は、前記第 1 の信号とともに送信する信号の送信の直前の、第 1 のフレーム又はスロット境界から開始する通信機器。

**【請求項 7】**

請求項 5 又は 6 記載の通信機器であって、

前記第 2 の信号は肯定的な応答であって、

前記第 3 の信号は否定的な応答である通信機器。

**【請求項 8】**

請求項 5、6、又は 7 記載の通信機器であって、

前記信号は拡散スペクトル信号である通信機器。

**【請求項 9】**

請求項 5 から 8 のいずれかに記載の通信機器と、

前記通信機器と通信をするための送受信手段を有する他の通信機器と、  
を有する通信システム。

**【誤訳訂正 2】**

**【訂正対象書類名】**明細書

**【訂正対象項目名】**0 0 0 4

**【訂正方法】**変更

**【訂正の内容】**

**【0 0 0 4】**

いくつかのシステムでは、フレームまたはタイムスロット境界などの特定の時間的瞬間においてだけ、第 1 の信号の送信電力の低減を実行することが可能である。これらの時間的瞬間は、（単数または複数の）付加信号の送信が開始しなければならない時間に一致しないこともあり得る。この問題を克服する方法は、（単数または複数の）付加信号の送信に先立って送信電力の低減を実行することである。

**【誤訳訂正 3】**

【訂正対象書類名】明細書

【訂正対象項目名】0018

【訂正方法】変更

【訂正の内容】

【0018】

UMTSの場合、動作規格は、スペクトル拡散アップリンク信号を実質的に連続して送信することを各移動局に要求する。これらの信号は、システムによって持続時間が指定される連続したフレームまたはタイムスロットにフォーマットされる。2つの信号がしばしば連続的に送信されるが、これらは専用物理データ・チャンネルDPDCH(dedicated physical data channel)および専用物理制御チャンネルDPCCH(dedicated physical control channel)であり、これらの信号が図1に示されている。データがないときは、DPCCHだけが送信される。DPDCHおよびDPCCHチャンネルの相対送信電力レベルPDおよびPCは、与えられたデータ・タイプ用の一定の電力比を維持するように調整され、それらの電力の総計(combined power)は許容最大電力レベルPmaxを上回らないように制御される。さらに、一定の電力比を維持している間、DPCCHの電力レベルPCは、閉ループ電力制御機構によって定期的に調整される。

【誤訳訂正4】

【訂正対象書類名】明細書

【訂正対象項目名】0019

【訂正方法】変更

【訂正の内容】

【0019】

図1の簡略版である図2を参照すると、基地局BSは、高速ダウンリンク・パケット・アクセスHSDPA(High-Speed Downlink Packet Access)を使用してパケット・データを特定された移動局に送信するために、適宜ダウンリンクを使用する。UMTS規格の下では、移動局MSは、各HSDPAパケットを受信する毎に、例えば巡回冗長検査(CRC)評価の結果に応じて、肯定応答(ACK)または否定応答(NACK)を送信しなければならない。